

報道機関各位

成層圏気球の打ち上げ・回収実験のお知らせ ～継続的な打ち上げ環境の実証に向けて～

岩手県立大学（瀬川典久ソフトウェア情報学部講師）、山梨大学（美濃英俊教授）と kikyū.org（地球観測気球プロジェクト）は、平成 26 年 7 月 26 日（土）午前 8 時から、釜石港沖合を回収目標地点とする成層圏気球の放球・回収実験を行いますので、ぜひ、取組についてのご取材をお願いします。

昨今、急速に拡大している宇宙ビジネスの市場において民間中小企業や一般技術者の参入意欲が大幅に高まっています。

他方、過酷な宇宙空間での信頼性確保のための実験や評価試験の機会は限られているのが現状です。

そうした中、成層圏気球を活用した実験は、小額な打ち上げ費用や打ち上げ頻度の点で大きなメリットがあると考えられ、岩手県は実験フィールドに適した環境が整っていると考えられます。

ぜひ、取組についてのご取材をお願いします。

記

1 成層圏気球について

(1) 岩手県における気球観測

岩手県においては、2008 年度に北海道大樹町に移転するまで JAXA 宇宙科学研究所の三陸大気球観測所（岩手県大船渡市三陸町吉浜）で、毎年 10 機程度放球されてきました。観測所が開かれた 1971 年から 2007 年の閉所までの間に放球された大気球は、合計 400 機を超えました。

(2) 日本 Android の会山梨支部 地球観測気球プロジェクト <http://kikyū.org>

kikyū.org は Android 携帯電話やオリジナルの追跡装置を使用し気球などの軌跡を記録、またセンサー情報や写真・映像をサーバに送り Web ページから見るようにするプロジェクトです。アンドロイドに代表される携帯電話のアプリケーションを開発するだけでなく、携帯電話と Web サービスを組み合わせるような実験を活動目的としています。いろいろな場所でその時にあった使い方のできる、面白い実験を続けてまいります。

(3) 今回の気球の放球・回収実験

岩手県立大学ソフトウェア情報学部瀬川典久講師は、北日本通信株式会社、数理設計研究所と共同で研究開発した 426MHz 帯特定省電力 MAD-SS シールドを気球に搭載し、打ち上げから回収まで常にその位置を把握します。参考動画 <https://www.youtube.com/watch?v=qWuxvpwRihY>

(4) 実験スケジュール

25 日（金）14:15～ 釜石市平田（釜石・大槌地域産業育成センター）にて事前準備・打ち合わせ
26 日（土）6:00～ 集合後 3 班に分かれて作業開始、8:00 打ち上げ（打ち上げ場所は前夜決定）

2. 研究者プロフィール

瀬川典久講師（ソフトウェア情報学部）

- ・ 最終学歴：
東北大学大学院情報科学研究科
- ・ 学 位：
博士（情報科学）
- ・ 研究領域：
センサネットワーク、ヒューマンインターフェース、ユビキタスコンピューティング、ペンコンピューティングとそれらを利用したセキュリティシステムの構築



<本件に関するお問い合わせ先>岩手県立大学 地域連携本部 大橋 電話 019-694-3330